

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

合同芸術祭



当院のシンボルツリーの大銀杏もついに黄色く輝き、秋の深まりを感じる11月21日に、毎年恒例の『合同芸術祭』を開催いたしました。

合同芸術祭は、患者さんが作業療法の中で制作された塗り絵や習字、手芸等の作品を掲示し、それぞれに鑑賞したり、その中から患者さんの投票で優秀賞を決め表彰しています。

毎年皆さん優秀賞を目指して、熱心に作品作りに取り組み、当日会場には渾身の作品がずらりと並ぶ様子は圧巻です。芸術祭を通して、作品作りの楽しさを味わうことはもちろん、お互いに自分の頑張りを評価し合い、自信の回復に繋がることを期待しています。

今年は昨年を上回る数の作品の応募があり、非常に見ごたえたっぷりでした。会場のあちこちからは「これ綺麗ね」「字が上手だな～」「あの人こんなこと出来ちゃうの?!」と思ひ思ひの声が聞かれていました。

後半にはクイズ王選手権と称して、職員も加わり3チームで対戦をしました。昭和の出来事に関するクイズは患者さんの得意分野であり、迷うことなく正解の札を挙げられていました。

最後に優秀賞と特別賞の表彰式が執り行われ、受賞者は少し緊張した面持ちで、院長先生から賞状と副賞を受け取っておられました。

参加された患者さんからは「普段評価される機会がないので、評価されるような機会を作業療法で作って頂けて嬉しいです」とこちらが嬉しくなるような素敵な感想も頂きました。



力作揃いで投票も悩みます



関西万博の顔ミャクミャクの
貼り絵も作りました



山精協創立70周年記念式典功労者表彰

山口県精神科病院協会創立 70 周年記念式典にて、当院の渡邊忍看護課長が功労者表彰を受けました。渡邊看護課長よりメッセージを頂きました。

この度、山精協創立 70 周年記念式典に参加しました。式典では功労者表彰が行われ、30 余年にわたり当院で働いてきた日々が思い返されました。高校卒業から今日まで、多くの患者さんや先輩方に支えられながら看護職として成長してこられたことに深い感慨を覚えます。名前を呼ばれた瞬間は静かな表彰ではありましたが、自分の歩みを振り返る大切な節目となりました。これからも地域の精神科医療を支える一員として努力を続け、より良い看護を提供できるよう精進していきたいと思っています。



式典にて。左から
平尾看護部長、院長、渡邊看護課長

第48回中国四国精神保健学会

11 月 28 日に第 48 回中国四国精神保健学会が行われ当院の戸島看護係長が研究発表をしました。

発表した戸島係長から、この度、第 48 回中国四国精神保健学会に参加し、研究発表を行いました。研究発表では日頃の実践を振り返る貴重な機会となりました。質疑応答を通して、自身では気づかなかった視点や課題を指摘していただき、今後の実践に活かしていきたいと思いました。

他の演題ではリカバリーやクライシスプランに関する発表が印象的で、患者の主体性や安心感を重視した関わりの重要性を改めて認識しました。今回の研修で学んだことを活かして、より良い精神科看護を実施していきたいと思っています。」との感想が聞かれました。



ソフトバレー同好会

当院では、職員によるソフトバレーチームが活動しており、看護師・作業療法士・薬局助手など約 10 名が毎月楽しく練習しています。部署を越えて集まれる場となっており、初心者の方も気軽に加われる雰囲気づくりを大切にしています。

今年は、9 月に日本精神科看護協会山口支部主催の大会へ出場しました。普段は学会や研修でしか顔を合わせる機会のない他の精神科病院の職員とも交流を深める貴重な機会となりました。

今後も、スポーツを通して職員同士の連携を育み、他施設とのつながりを大切にしていきたいと考えています。



ナイス
レシーブ！

編集後記



全国でインフルエンザが流行しています。ニュースでは、外国で猛威を振るった変異ウィルスが日本でも確認されたとの報道がありました。日本ではあまりみない型のウィルスであり、今後ますますの感染拡大が懸念されます。皆さんも手洗いうがいや換気等、感染対策をしっかり行って、新たな年を健康に迎えられようにしましょう。